



INDONESIA MISSION



発行：日本福音教会(JEC) インドネシアミッション
 〒662-0896 西宮市上ヶ原六番町2-42 西宮福音教会内 TEL：0798-51-5100
 郵便口座：00970-3-313875 「インドネシアミッション」
 HP：https://indonesiamission.info/

スルートウンバワンのさらに奥地、
 ゲンジュマ村の婦人



インドネシア・カリマンタン宣教のために、続けてお祈りとご支援をいただきありがとうございます。

この2年間、インドネシアでも新型コロナウイルスの影響は非常に大きなものでした。しかし、それでも現地の宣教の働きは少しずつ前進しています。なぜなら、神様から志と願いをいただいた「人」がそこにいるからです。

上の写真は、カリマンタン奥地のゲンジュマ村の婦人たちです。この村からもスルートウンバワン・グロリア寮Ⅱに入り成長した子供達があります。その中の一人、ネリは、この村で保育園(キリスト教教育)の再開に今、挑戦しようとしています。中に彼女の記事がありますのでぜひお読みください。信仰に立ってチャレンジするネリと、今まで培われた人と人との繋がり、そして祈りと支援のネットワーク。時間はかかりますが、これらが宣教の働きを前進させていくのだと思います。

インドネシアミッション代表 高橋めぐみ

KBIにて 奈良盆地を背に



ATI神学校だより ディナー・バルカロ(ATIスタッフ)

シャローム 主に感謝します、前期(2021年6月から12月)の学習・訓練プロセスはうまく行っています。現在、学生は117人居ます。全ての神学生に支援者が与えられており主を讃えます。2021-2022の新学年はPAK(キリスト教教育プログラム)がスタートしました。3人のスタッフが、キリスト教教育修士課程(M.Pd.K)、2人が神学博士課程(D.Th)で学んでいます。

祈りの課題:

- ・インドネシアのコロナの状況、活動が通常に戻りつつあることを主に感謝します。
- ・2021年2月から始まった“アンジュンガンから世界へ”ライブストリーミング「真なる愛の言葉(SKS)」の為に。(多くの魂が祝福されるべく、毎朝5時(日本時間朝7時)から配信しています)
- ・ATI神学校で2022年1月に始まる週末奉仕のために。たくさんの魂をイエス様に導くことが出来るように
- ・事務所改装費用1億5千万ルピアが満たされるように
- ・大きな行事(卒業式、BBMZなど)用プラスチック椅子の購入のために。15万ルピア/1脚x200脚=3千万ルピア
- ・SKSの音響、防音機器の購入のために。2千万ルピア
- ・2022年6月に行われる卒業式・派遣式のために。
- ・PAKプログラム用の講義室増築のために。1億ルピアが満たされるように
- ・ATI神学校の教師陣の研究費用のために経済的支援者が与えられるように。

日本の皆さんがATI神学校をずっと忠実に支援し続けて下さり感謝します。特に、日本より奨学金サポートを受けている4人の神学生はしっかり学んでいます。ヘレナ姉妹は現在、ガバンのGKMI教会にて1年間の実習期間中です。また、ムンキン姉妹は2022年1月に論文を書き、6月から1年間の実習に入ります。ソフィアは2年生になりました。



カリマンタン島西部地図



プニティ・アナスタシス教会の近況

フレンキー・シマンジュンタ牧師

シャローム

「私を強くしてくださる方によって、私はどんなこともできるのです。」(ピリピ人への手紙4章13節)

プニティ・アナスタシス教会のミニストリーを導いてくださるイエスキリストを賛美します。また、祈り支えてくださっている皆様に感謝いたします。

2021年はインドネシアがコロナの影響を受けた2年目の年でした。全ての州が、生活の全ての面において、つまり教育、経済、社会文化において、このパンデミックの影響を大いに受けました。霊的な面(教会の礼拝)も例外ではなく、教会の活動もおおいに制限を受けました。しかしこの困難な状況にあっても私たちは変わらず主に感謝を捧げます。神様は今年1年間も共に居られ、たとえ制限の中にあっても、ミニストリーもスムーズに進めることが出来ました。(日曜日は教会で顔を合わせて礼拝出来ました。ただ、週日のプログラムはまだ平常通りには行えていません。)2020年から今まで、教会員皆がコロナ感染から守られて感謝です。神様が私たちを養ってくださっています。



お祈りください

- 1、教会員全員、そして牧師、役員たちを今日まで神様が養って下さっていることを感謝します。
- 2、洪水の被害を避けるために、教会の床上げを計画しています、その計画のために。
- 3、来年2022年に教会が自立することを目指します。神様が祝福して下さるように。
- 4、私たち夫婦に牧者としての知恵と力が与えられるように。

スルートウンバワン ゲンジュマ村保育園の働き

ロマナ・ネリ姉

私の名前はロマナ・ネリと言います。グロリア寮Ⅱ出身で、日本からのサポートで今年エンティコンの教育大学を卒業しました。私は今、故郷ゲンジュマ村の保育園を再開したいと願っています。私の村は隣国マレーシアとの国境近くの村で、エンティコンからは2番目に遠い村で、孤立した地域とされています。

私の村では、たくさん子どもたちが途中で学校に行かなくなります。学校の設備が整っていない事もあります。本、制服、体操服、パティックの服などを持っておらず学校に来れなくなる子どもが大勢います。また幼少期からの教育が重要であるという意識が村の人々に欠けている事もあります。2017年に保育園はスタートしました。しかし2019年までしか続きませんでした。



卒業式の
ネリ姉

私は大学の論文でこのボルネオ保育園のリサーチをしました。保育園が閉園になった理由は以下の通りです。

1. 運営費用が明確ではない
2. 教師の方々への謝礼が決まっていなかった
(当初は謝礼はありましたが、開校してから1年経つまで支払われていませんでした)
3. 教室の不足。小学校の1年生の教室を使っていた。
4. 教師不足。現在は教師が1人だけしかいない

保育園スタートのための祈祷課題

1. 保育園を始める機会が与えられたことに感謝
2. 施設がないので与えられるように(仮建物はあります)
3. 運営費用が満たされるように
4. 友人のキキ、ジュリー、又私自身が愛と忍耐をもって子どもたちを教え、教育することが出来るように。神様から知恵が与えられるように
5. 不足が沢山ある中で、子どもたちが学ぶ心を持ち続けることが出来るように
6. 地域社会のために(子どもたちの親のために。彼らが学ぶ子供たちを支援し続けることが出来るように)
7. 自治体と文部省から許可を取得できるように。
8. 困難は沢山ありますが、この課題に取り組む強い意志を持ち続けることが出来るように

村への道路はやっと通じるようになりました。次世代の子どもたちには適切な教育を受けることが出来るようになってほしいと願っています。私の故郷でキリスト教教育の保育園を再開できるようにお祈りをお願いします。



●族伝道 タヨンナ兄と家族から

Nang

●族がイエス様の弟子となっていくように、彼らに届いていく働きに特別に加えられていることを主イエス様に大変感謝しています。主イエスキリスト様の宣教命令を完成するため、私たちの事をいつも忠実に祈り、励まして下さり、経済的に支えて下さり、各団体、個人的な皆さん、またご家族、教会、宣教団体の皆さんに、大変感謝しています。私たちはこのミニストリーの頭なる主イエスキリスト様がこの宣教の働きを全て良いもので返して下さる方であることをただ祈ります。

全てが神様の恵みによって、現在、西カリマンタンのS市という街に2020年8月3日から住んでいます。●族に届いていくための働きがいくつかあります。

- ・毎週火曜日に断食祈禱をする
 - ・●族の各村の周りをプレイヤーウォークをする
 - ・教会のセルグループで祈る
 - ・●族と一緒に届いていくためS市の教会と関係を作る
 - ・●族の人々と友達になる
 - ・改宗してクリスチャンになった人々を個人的に訪問したり、電話で導く
 - ・●族の宗教の祝祭日に訪問する
 - ・●族伝道のためのミッションハウスを建築する
- これらの働きを通して●族に届いている良い結果が現れています。ここで、個人的にまた家族でイエス様の福音を受け取り、暗闇の力や病から変えられています。

●族伝道の祈り課題

- ・イエス様の福音を聞いた人々がイエス様を主として心から受け取る事が出来るように
 - ・●族伝道の働きを妨げようとする暗闇の強い力があるので、イエス様の御力で打ち砕かれるように
 - ・イエス様の弟子となった人々がイエス様にあって成長していくように
 - ・S市にある教会が●族伝道の重荷を受取るように
 - ・S市で●族伝道のミニストリーチームを結成出来るように、そして●族伝道に重荷ある人々を送って下さるように
 - ・●族に届いていくための良い戦略と勇気の霊が与えられるように
 - ・ミッションハウスの建築が完成するように
- これらが●族伝道ミニストリーの祈り課題です。互いの為に祈り合う事によって、イエス様の御名前さえ聞いたことのない●族に、福音が広がると信じます。お祈りを感謝します。主イエスキリスト様の祝福がありますように。



建設中のミッションハウス

「インドネシア福音教会(GIII)」の導き

17年間奉仕したインドネシアを離れ、1989年6月に本帰国しました。それは、インドネシア政府が10年以上インドネシア在住外国人のビザは、延期せずという決定をしたからです。いわゆる、日本の明治時代のような、国産化政策の一環です。強く心を引かれる思いと、高校生になって日本に残している二人の娘のことを考えると、これも主の御配慮かという思いで帰国したのです。

しかし、それまでも何度も経験してきたように「どうして？」と行き詰ったり、働きがストップしそうになった時、主は道を備え、人の思いを超えた計画に導かれたように、今回も主の御計画が備えられておりました。帰国後については、先ずアンテオケ宣教会事務局の働き、そして、宣教的な教会の形成、できたら千人教会をなどと夢をいただいております。

しかし、主は、新しい主のお働きを備えておられたのです。インドネシア人が増えてきていた東京に、その数年前に、月一度の超教派のインドネシア語礼拝が生まれておりました。私も一時帰国の際にクリスマス礼拝などに招かれ奉仕したことがありました。その交わりの中心になっていた二家族、大使館関係者と石油公団駐在員が、なんと、かつてジャカルタ夜間神学校で教えた人達だったので。彼らいわく、東京にはすでにカトリックのインドネシア語礼拝はあるが、プロテスタント礼拝はまだ無い。安海先生が、帰国したのはそのために違いないと言うのです。私も不思議な主の御手の導きを感じました。そして、事は一気に進みました。帰国後二ヶ月で、新宿南口にあったコンピューター学院の一室で、インドネシア語主日礼拝がスタートしたのです。32年前です。

7~8名で始まった東京インドネシア福音教会(TFKI)は、日本で初めてのインドネシア語プロテスタント教会として人数も増え、礼拝場所も渋谷のHI-BAセンター、池袋の大手の塾の大教室を経て今日神田の韓国YMCA ホテルのホールに導かれています。さらに来日するインドネシア人、関係者が増え、各地に伝道所が生まれ教会となりました。



今、七教会(牧会者の居る自立教会一東京、茨城、三重群馬、愛知、大阪)と八つの伝道所です。八人のインドネシア人牧師と楽しく牧会させていただいております。そして、この八人のうち、ベテランの四人はかのカリマンタンのATI神学校卒業生です。大田先生、めぐみ先生の奉仕の実です。そして、今、インドネシア福音教会GIIIはJECの傘下に置いて頂き、牧師招聘、不動産取得手続き等お世話になっています。



カリマンタンの牧師不足の為として始まったATI神学校、今、卒業生が全国のみならずたくさん宣教師として世界各地に遣わされております。ATI神学校スタートに関わらせて頂いたものとして、振り返りますと夢のようです。今だに、千人には届きませんが、GIII教会は七組のインドネシア人宣教師とトルコ宣教の末富宣教師をサポートする宣教スピリットに富んだ群れとなりました。主は、ヴィジョンを与え、それを実現される主です。(終)



－ 祈りのリクエスト －

ATI神学校

- ◎神学校スタッフと学生たちの守りと祝福のために。
- ◎宣教師館を管理して下さっているディナール先生と高校生たちの祝福のために。

3つの学生寮共通

- ◎3つの寮の舎監達に知恵が与えられるように。寮生たちの霊的指導のために。
- ◎コロナ禍で後れをとってしまった子供たちの学力のために。
- ◎ZOOMを用いての舎監たちとのミーティングの為に。舎監たちとのコミュニケーションのために。

エンティコン・グロリア寮Ⅰ

- ◎公道から寮へ向かう通路(私道、約100m)の、地崩れ対策の排水溝工事を行っています。最善の方法で設置できるように。



フィカル兄とノビタ夫人



グロリア寮Ⅰ排水溝工事

スルートゥンバワン・グロリア寮Ⅱ

- ◎今年結婚した舎監フィカル夫妻のために。奥さんのノビタさんの適応のために。寮の移転問題との関係で、住居は寮に仮住まいしています。環境が整うように。
- ◎グロリア寮Ⅱの地域の村々の経済のために。

ブンカヤン・ベラカ寮

- ◎男子、女子それぞれの台所はきれいに出来上がっています。感謝。続いて寮の補修工事(屋根、梁など経年劣化部分)に入ります。
- ◎今年、新しく入ってきた子どもたちへの霊的指導のために。

奨学生

- ◎修士課程に進学したスインのために。
- ◎バダットラマ村に診療所を開設する夢をもって前進しているドノの健康と学びのために。
- ◎アンジュンガンの宣教師館で高校生のヤコブス、アンドリカ、テシー、インドラ(グロリア寮Ⅱ出身)の学びと霊性のために。彼らの進路のために。大学進学を希望しています。



ヤコブス テン アンドリカ
ディナール先生 インドラ

プニティ・アナスタシス教会

- ◎華人中高生たちの家族が救われるように。
- ◎集っている軍隊のクリスチャンの家庭の祝福のために。
- ◎教会役員に助けと知恵が与えられるように。教会の経済の祝福のために。
- ◎フレンキー牧師一家の守りと祝福のために。

沿岸部族の働き

- ◎●族伝道のためのミッションハウス、建設が進んでいます。完成までの必要が満たされるように。
- ◎ミッションハウスの大工さんの救いのために。
- ◎タヨンナ師の奥さんナナさんは、9月に第三子を出産しました。子どもの回復と守りのために。
- ◎祈りの課題に挙がっている人たちの救いのために。

その他

- ◎現地と良いコミュニケーションをとって、互いによく祈り合っているように。
- ◎カリマンタンへの宣教師(長期、短期)が導かれるように。

アンジュンガン宣教師館から

高橋めぐみ

ATI神学校敷地内の宣教師館は、神学校スタッフのディナール先生が住んで管理して下さっています。そしてグロリア寮Ⅱ出身の子供達がここに住んで、管理を手伝いながら高校に進学しています。

宣教師館の庭には、様々な果物の木があります。バナナ、パパイヤ、マンゴー、マンゴスチン、ランブータン、ジャックフルーツ、シルサク…。時々彼女たちから果物の写真がSNSで送られてきます。「いつアンジュンガンに来ますか？〇〇の果物がなりましたよ」。

宣教師館のクリスマス会



ランブータンの木



マンゴスチン



アップルマンゴー



マンゴスチンの木